

流汗求道 (るかんぐどう)

大塚高校体育科 校訓

ひたむきに汗を流し、自らの道(人生)を切り拓く

★競技力の向上と広く府民の体育・スポーツの振興・発展の拠点校

「勉強と競技の両立」を柱に、「知・徳・体」のバランスのとれた人間の育成、次代を担う体育・スポーツの振興発展に寄与する人材の育成を目指します。

【体育科の目標】

様々な人材の育成	主な進路先
1. 体育・スポーツの振興・発展に寄与する人材の育成	教員 (スポーツ系大学) スポーツ指導者 (大学・スポーツ系専門学校)
2. 健康に関わる人材の育成	大学進学・専門学校進学・高校卒業後 看護師・スポーツトレーナー・救急救命士 (消防士) ・理学療法士・柔道整復師・鍼灸師
3. トップアスリートの育成	・ <u>プロ選手</u> や <u>日本代表選手</u> や <u>実業団選手</u> を輩出 EX 東北楽天ドラフト指名H27 (2015) S級競輪選手 アルティメット U-23 日本代表 世界ユースバレーボール選手権3位 U20オリンピック育成選手 (陸上競技) U20日本代表選手 (陸上競技) 実業団ランナー (陸上 長距離) ・スポーツを継続するため、スポーツ有名大学進学

【体育科生徒の志望動機】

(いろいろな進路の実現可能 (主に文系)。自分次第の選択ですべての進路選択が可能)

1. スポーツや健康に関する専門的な勉強がしたい。仕事に就きたい。オリンピックに向けて
2. 先生や指導者になりたい。

(保育士や小・中・高・大の先生。メキシコサッカートップクラブチームコーチ・海外青年協力隊ヨルダン)

3. 健康に関わる仕事をしたい。(看護師・介護福祉士・栄養士・柔道整復師・鍼灸師)
4. 公務員になりたい。(市役所・警察官・警視庁・消防・救急・レスキュー隊員等)
5. スポーツが盛んで、競技力が高く、指導者がいる学校に行きたい。全国・近畿出場
思いっきりスポーツ(部活)をやりたい。特に保護者が行かせたい学校。子どもが伸びる
6. 落ち着いた学校(あいさつできる・学校が綺麗・遅刻がない・問題行動はほとんど無い)
学校の体育・スポーツ環境は抜群

- やる気・前向きな生徒が多く、生徒同士の絆が強い
- 個人や組織の目標が高い
- 意識が高い。何らかの志をもっている

★ここが体育科の推し！！

- ・高校入学が最終地点では無いがどこで高校3年間を過ごすかは大きな問題(人間的な成長)
※スポーツを通して知徳体とバランスのとれた人間形成に重点を置く
- ・子どもを社会に出す前の最後の教育の場(社会で活躍できる立派な社会人の育成)
- ・体育コース9年、体育学科28年の大阪府下に最初に体育科が設置された学校の伝統・プライド

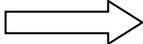
【スポーツ・体育に秀でた生徒を育てる】

1. 実技授業や部活動指導は専門教員の指導

・・・それぞれの種目指導のエキスパートが授業・部活動を指導します。

体育科は、他の普通科学校と違い体育の先生が多く、それぞれの指導者の専門性が深い

現在 合計14名の体育科教員が在籍しており、更には部活動を支援する部活動指導員がいる。

2. 講演会・講習会等で意識を育てる  「成功するための準備をなさい」

●講演会や講習会指導者の例

オリンピックなどの日本代表選手や日本代表コーチ・プロ選手など
 スポーツジャーナリスト・プロ選手のスポーツドクター・整形外科医・脳科学ドクター・
 管理栄養士・アドベンチャーランナー・サッカー日本代表・陸上競技オリンピック選手・
 ラグビー高校日本一指導者・バレーボール日本代表・
 シンクロナイズドスイミング日本代表ヘッドコーチ・体操オリンピックコーチ・
 トランポリンオリンピック選手・プロボクシング（世界王者・世界タイトル3団体制覇）・
 剣道日本代表

3. 体育・スポーツ人を育てるバックアップ（施設面・人材面）

●スーパーインストラクター招聘事業（専門学科等支援事業）

→日本代表選手やプロスポーツのコーチを学校に招へいし、直接指導していただく

●高大連携

→スポーツ系大学見学（体育科2年）

専攻研究発表アドバイス→大阪体育大学 大学院

【充実したスポーツ・体育施設】（部活動の主な活動場所）

スポーツ施設・設備	主に使用する部活動
グラウンド（300mトラック）照明あり	陸上競技（中長距離）・野球・サッカー
第1体育館（冷暖房完備）	バレーボール（男女）
第2体育館	バスケットボール（男女）
小体育館	授業で使用
WTトレーニング場	全部活動
柔道場・剣道場	授業で使用
25mプール（6コース）	水泳部
テニスコート（全3面）	ソフトテニス（男女）
まほろば館（多目的研修ルーム）	全部活動・授業で使用
全天候型ダッグアウト	野球部
シャワー付き更衣室	全部活動
第2グラウンド（200mトラック・照明あり）	陸上競技（短距離・障害・跳躍・投てき等）

【体育科 専攻実技種目】 ⇒体育科生徒は以下の7種目いずれかの部活動に必ず所属する

陸上競技（男女）・水泳（男女）・男子バレーボール・女子バレーボール

男子バスケットボール・女子バスケットボール・野球（男子）・サッカー（男子）

ソフトテニス（男女）

【体育科生所属の部活動実績】

こちらをクリック（リンクに飛ばしてください。）

- ・陸上競技（男女）
- ・水泳（男女）
- ・男子バスケットボール
- ・女子バスケットボール
- ・男子バレーボール
- ・女子バレーボール
- ・野球（男子）
- ・サッカー（男子）
- ・ソフトテニス（男女）

【カリキュラム】 学校パンフレット参照してください。

以下は体育科専門科目のカリキュラムと内容

体育科 専門科目 (保健を除く)	3年間の 単位数	内 容
スポーツ概論	3	体力向上の科学的基礎、トレーニング理論、スポーツ障害 栄養学、メンタルマネジメント、研究発表ほか。 実技と座学両方とも行います。
スポーツⅠ	4	体操・陸上競技・水泳などの採点競技や測定競技
スポーツⅡ	男子5 女子4	球技(バレーボール・バスケットボール・サッカー・ソフト ボール・テニス・バドミントン・ゴルフ)
スポーツⅢ	男子2 女子1	武道(柔道・剣道)
スポーツⅣ	女子のみ2	創作ダンス
スポーツⅤ	3	野外活動(キャンプ・スキー・臨海実習【水辺実習】ほか)
スポーツⅥ	3	体づくり運動(スポーツテスト・コントロールテスト) 専門種目で必要な体づくり運動
スポーツ総合演習	3	スポーツの知識や実践に関する課題研究 専門種目の研究

- その他 ●スポーツ界講師による講演
●スポーツ栄養学講習会
●救急救命法実習(日本ライフセイビング協会ウォーターセーフティ資格取得)

【体育科の入学者選抜】

(特別入学者選抜の日程と内容【詳しくは大阪府教育庁のホームページを確認ください】)

体育科 特別入学者選抜内容 昨年度例 → 本年度は大阪府教育庁の発表を確認ください

★体育科の入学選抜者倍率について(過去10年間)

年 度	倍 率	年 度	倍 率
平成23年度	2.03倍	平成28年度	2.74倍
平成24年度	1.63倍	平成29年度	1.91倍
平成25年度	1.48倍(3クラス)	平成30年度	2.08倍
平成26年度	2.17倍	平成31年度	1.74倍
平成27年度	2.28倍	令和2年度	2.00倍

- 出 願 2月中旬の2日間
●入 試 2月20日近辺の2日間(1日目 学力検査 2日目 実技検査)
1日目 学力検査 5教科 国・社・数・理・英
2日目 実技検査 運動能力検査
運動技能検査

選抜得点⇒ 総合点675点(学力検査225 実技検査225 調査書225)
45点×国社数理英 能力・技能 5段階×5×9科目
45点 180点 1・2年×1+3年×3

- 合格発表3月の1週目

※昨年度は2クラス80名(男女比やクラブ比は無い) クラス数は11月頃発表。

※ボーダーゾーン(90%~110%)では自己申告書・調査書の活動・行動の記録から

アドミッションポリシーに極めて合致する者を優先する。その後に総合点が高い順に合格

★体育科生徒の進路状況 過去6年

国公立大学

筑波大学3 大阪教育大学3 京都教育大学2 東京学芸大学1 愛媛大学1

私立大学

早稲田大 上智大 法政大 青山学院大 明治大 立命館大 関西学院大 関西大
近畿大 順天堂大 日本大 東洋大 中京大 東海大 龍谷大 甲南大 武庫川女子大
京都産業大 摂南大 大阪体育大 日本体育大 東京女子体育大 福岡大 天理大
摂南大 桃山学院大 阪南大 佛教大 大阪経済大 同志社女子大 立命館太平洋大学
亜細亜大学 國學院大学 園田学園女子大 びわこ成蹊スポーツ大 環太平洋大学
上武大 中央学院大 森ノ宮医療大 関西医療大 大阪行岡医療大ほか

専門学校 各看護学校 各柔道整復師・鍼灸師専門学校 スポーツ系専門学校

公務員 大阪府警 消防（柏羽藤・堺市・東大阪市・八尾市・池田市ほか）